

## 広島市立安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

|                 |   |
|-----------------|---|
| 研究課題名           | 分子標的薬時代における転移性腎細胞癌患者の予後と予後因子の検討   |
| 研究責任者<br>(所属科名) | 泌尿器科 主任部長 三田耕司  |
| 本研究の目的・意義       | <p>転移性腎細胞癌に対して分子標的薬が次々と用いられるようになり、従来に比較して生存率の改善が報告され、転移性腎細胞癌に対する治療戦略は大きく変わりつつある。その一方で、我が国における転移性腎細胞癌の適正なリスク評価、予後予測や分子標的薬の至適な投与方法などについてはいまだ確立されておらず、治療戦略の確立のためには多数の患者さんの情報を検討することが必要とされる。</p> <p>この研究は、分子標的薬投与前の情報、選択薬剤とその効果、予後を調査することで、転移性腎細胞癌に対するより有効な分子標的薬の投与方法を明らかにすることを目的とする。</p> |
| 調査方法・調査期間       | <p>2007年1月1日～2022年12月31日までに安佐市民病院泌尿器科で転移性腎細胞癌に対し分子標的薬投与を受けた患者さんの情報を調査します。</p> <p>調査期間は倫理委員会承認日から2022年12月31日までです。</p>  |
| 該当資料・データ        | <p>★対象となる患者様<br/>2007年1月1日～2022年12月31日までに安佐市民病院泌尿器科で転移性腎細胞癌に対し分子標的薬投与を受けた方。</p> <p>★利用する情報<br/>腎摘除された際の病理標本パラフィンブロック、電子カルテに記載のある診療録（カルテ）、検査データを利用します。</p>   |
| 個人情報の取り扱い       | <p>利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報 は削除致します。また、研究成果は学会・学術論文で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は一切利用しません。</p>   |
| 共同研究機関          | <p>広島大学大学院医歯薬保健学研究院腎泌尿器科学<br/>広島市立安佐市民病院泌尿器科<br/>県立広島病院泌尿器科<br/>JA 広島総合病院泌尿器科</p>   |

|                            |  |
|----------------------------|--|
|                            | <p>三次市立三次中央病院泌尿器科<br/> 国立病院機構東広島医療センター泌尿器科<br/> 国立病院機構呉医療センター泌尿器科<br/> JA 尾道総合病院泌尿器科<br/> 国立病院機構福山医療センター泌尿器科</p> |
| <p>本研究の資金源<br/> (利益相反)</p> | <p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>   |
| <p>お問い合わせ先</p>             | <p>広島市立安佐市民病院 泌尿器科 主任部長 三田耕司<br/> 電話：082-815-5211（代表）</p>  |
| <p>備考</p>                  |  |